

# 上志津原たより

2020 年 8 月 1 日発行

編集発行：上志津原町会広報係

発行責任者：町会長 中野 勇

## トピックス

- 班長会 (7 月 4 日)
- はらモン は何もん?
- 盆踊り大会 中止について
- 感染防止に努めましょう
- はらトピア健康体操 再開!
- はら雀塾 再開



### ■ 班長会 (7 月 4 日)

#### 1. 町会長挨拶 (中野町会長)

東京都を中心とした感染拡大の懸念が強まっていますので、マスク着用、手洗い、消毒など予防に努めて下さい。緊急事態宣言の解除を受け、各行事の再開を進めておりましたが、不特定多数の参加となる盆踊り大会について中止としました。一方、参加者が特定できる「はらトピア体操会」、「はら雀塾」は状況が極端に悪化する事も考慮しつつ再開の準備を進めています。

#### 2. 子供会からのお知らせ (北原会長)

7 月 19 日 (日) 廃品回収を予定しています。子供会の活動費になりますのでご協力をお願いします。

#### 3. まちづくり委員会からのお知らせ (萩庭会長)

はらトピア体操会、はら雀塾は感染防止対策を施したうえで活動再開を進めています。公園清掃は 7 月 18 日を持って暫く夏季休業となります。親子ふれあいキャンプは学校の夏休み短縮、感染状況を踏まえて開催は難しいと考えています。代替行事の検討を含め来月班長会でお伝えしたい。

#### 4. 防災防犯委員会 (見上会長)

6 月 21 日予定の防災訓練は中止とし、同日の防災防犯連絡会は開催しました。登下校時に利用する上志津原交差点の横断する方向、公園で遊ぶ子供達の距離感や大声を発している様子に危機感があり注意喚起の依頼、子供達の自転車の乗り方について家庭での注意喚起の依頼、ほか意見交換が行われました。パトロールは 6 月より再開していますので、班長の皆さんも参加協力をお願いします。

#### 5. 会館・ふれあい通りの清掃当番など (総務)

当番表に従って対応をお願いします。

#### 6. 盆踊り大会について

盆踊り大会中止の回覧を用意しました。また、ご寄付を頂いている方へ招待状の代わりに、中止の案内状を用意しましたので配布をお願いします。

#### 7. その他

広報：はらたより 414 号をお配りしました。各戸配布お願い致します。  
総務：愛の一元募金を行います。ご協力をお願い致します。

#### 8. 今後の予定

次月班長会 8 月 1 日 (土) 19 時

### ■ はらモン は何もん?

一説によれば、上志津原に住む妖精らしい…? 運動会やハロウィンパーティーなどで時折その姿は目撃されていたが、素性を詳しく知るものはいない。ひとたび姿を現わせば、老若男女問わず歓声が上がり子供達が駆け寄る。「Justice!」と叫んだりして匂の笑いにも精通しており、かなり人間に興味を持っている様子だった。最近その姿をお見かけする機会がないようだが、これも新型コロナの影響なのだろうか心配していた矢先、しっかりと「はらたより」に登場しているのではないか。これもリモートワークなのか…。ご時世だなと思う。



最近の「はらたより」に登場した様子をまとめてみました。実はこれコラボ企画です。これからどんな「はらモン」が登場するのか楽しみですね。(広報)

さぶまる > はらモン★毎日つかえそうなたスタンプ  
有効期間 - 期限なし  
50 保存コイン

プレゼントする

丸くてかわいい上志津原の妖精「はらモン」。毎日使えそうなたスタンプです。  
スタンプをタップするとプレビューが表示されます。

OK 承知 ありがとう いただきます ありがとうございます

えっ 大丈夫? うん ありがとう いただきます

おはよう! こんにちは! こんばんは!

### 【はらモン コラボ企画】

新型コロナウイルスの感染状況が続き、行事の中止が続く状況にあり、「はらたより」の紙面は以前の賑わいを失う危機的状況に。少しでも笑顔をお届けしたいとコラボ企画がスタート。第二弾企画として「LINE スタンプ」を作成しました。デザインや手続きをボランティアが行っています。凄くオリティです。デザイナーさんの「はらモン愛」を強く感じます。デザイナーさんのご好意に報いたく 50 コイン (約 120 円) と有料で提供しています。子供達とのコミュニケーションに使って頂けたら幸いです。更に、企画第三弾として「缶バッジ」を準備中。行事参加の子供たちへの配布を予定しています。

### ■ 盆踊り大会 中止のお知らせ

前号でもお伝えしましたが、夏の風物詩「盆踊り大会」は中止となりました。祝い酒、炭坑節、東京スカイツリー音頭、佐倉音頭、大東京音頭、など上志津原町会の定番楽曲が頭の中で鳴っています。…とても残念です。仕方が無いので、1 年後を楽しみに自主練に励みます。(総務)

### ■ 感染防止に努めましょう

社会が一体となり努力した成果、5 月 25 日に非常事態宣言が解除され、自粛要請も段階的に解除が進む状況となり、期待感が膨らんできました。しかし、全国で小規模なクラスタの発生が続き、飛沫防止やソーシャルディスタンスなど感染防止マナーを遵守することの難しさが浮き彫りとなりました。



とは思っていたが、数字で示されると再開ムードに高揚していた気持ちが折れそうになります。皆様と共に町会行事を再開できる日が一日も早く取り戻せる事を願います。前号に続き再掲となりますが、おかしなと思ったら下記へ連絡しましょう。詳しくは佐倉市のホームページを参照して下さい。(総務)

### おかしなと思ったらまずは連絡 何処へ?

- (1) 帰国者・接触者相談センター 印旛健康福祉センター  
平日午前 9 時～午後 5 時 電話 043-483-1466  
上記以外 電話 0570-200-613
- (2) 市内医療機関  
直接訪問することはせず、電話連絡した上で受診して下さい

### ■ どしゃぶりの大雨

今年の梅雨は九州地方を中心として災害級の猛威を振っています。我が町、上志津原も強風と大雨が続き、昨年の台風被害を思い出しました。7 月 6 日 (月) の朝、天候はどしゃぶりの大雨。通勤途中、上志津原交差点を渡る子供達の様子を見守っていた。傘をさしているためか、長い行列状態となっている子供達を巧みに声掛けして誘導するスクールガードボランティアの姿がありました。子供達は、傘で視界が悪い上に、大雨で傘の持ち手と足元に注意が向き、車など周囲へ警戒心が薄れています。「おはよう！前の人に続いて進んで！」と焦らせることはなく優しい声かけで誘導している様子が印象的でした。感謝です。また、車を運転される方は雨の日は特に視界が悪いので、いつもより警戒心を強くもって安全な運転を心掛けて下さい。けしてご自身が加害者となること無いようお願い致します。



梅雨入りも、梅雨明けも気付かないうちに過ぎてしまう「から梅雨」といわれる年が近年多いように思っていたのですが、あらためて調べてみると思い違いました。昨年も 6 月 28 日～7 月 3 日、「九州を襲った災害級の大雨」と全国ニュースになっていました。私達の生活に大きな被害をもたらした台風 15 号、19 号、21 号の災害でさえ私の記憶は劣化してしまっていました。困ったものです。上志津原も災害と無縁ではありません。遊歩道の倒木、家屋損壊、低地の冠水、そして停電。「災いは忘れた頃にやってくる」「備えあれば憂いなし」今一度、身の回りの備えをご確認下さい。補充や買換えが必要なものがあれば早めに準備を整えておくようお願い致します。(広報)



前号に続き、まちづくり委員会の各部会をご紹介します。新型コロナウイルス感染拡大防止として休会を続けてきた「はらトピア体操会」と「はら雀塾」は非常事態宣言の解除の後、事業再開に向け政府の感染拡大防止対策のガイドラインに適應するべく準備を進めていました。休会中や再開に至るお話しをお聞きましたのでご紹介させていただきます。(広報)

■ はらトピア体操会 「再開までの道のりと再開当日の様子」

7月7日(火)、再開の日は「七夕」でした。前回の開催が3月3日で「ひな祭り」でした。特に意味は無いのですがゴロは良いので縁起も良いと勝手に思う事にした。しかし、4ヶ月も休会することになるとは思いもしなかった。

再開に先立つ6月16日、西志津玉野会館で他団体の再開状況を見学に向った。再開にあたっては佐倉市や包括支援センターより指導を受け準備を整えたとのこと。会場の様子を見て、これなら「はらトピア体操会」も再開可能と判断、再開に向け準備を進める事とした。同日、佐倉市高齢者福祉課へ再開に向けた取り組みを説明し、了承を得るに至った。6月23日、体操会役員会を開催。再開の見通しが立ったことで役員のテンションが一気にアップ。再開の段取り、会員への告知、感染防止対策に沿った内容で案内文を作り上げ、32名の会員へ手分けして配布しました。また、6月30日、高齢者福祉課へ出向き助成金の申請手続きを行いました。この時点では再会を果たした団体はまだほんの一握り、まして飲食を伴う行事の再開はゼロ、とのこと。今なお再開へのハードルが高い事を知りました。申請後市の手続きは瞬間に通過し、7月2日、補助金支給の通知が届いた。昨年より2週間も早い対応で、積極的に支援していると感じられた。早速、アルコール消毒液、非接触体温計などを購入し再開に備える。同日、「感染防止対策チェックリスト」の修正版が届き、準備状況を再点検。出席簿に体温とその日の体調を記入する欄を加えた。ようやく再開の準備が整った。

再開当日の7月7日(火)朝8時20分、会場設営に取り掛かる。玄関や窓を全開放、折からの強風でカーテンが暴れる。湿った空気が一気に流れ込み、室内の湿度が75%に上昇した。続いて床清掃、ドアノブ・机の拭き取りを行った。2週間前、床に一定間隔でテープの印を付けておいた場所に椅子を並べる。これで会場の準備は整った。来場を待つひと時、参加者人数を予想。感染状況を踏まえれば15・16名参加して貰えば上々ではないか。…結果は24名。みなさん再開を待ち望んでいたようでした。

定刻、さあ開会です。軽体操から始め、佐倉ふるさと体操(歌なし)、佐倉わくわく体操、ラジオ体操第一、脳トレ(健康クイズ)などの定番メニューを中心に進行。時折見える参加者の笑みに今日までの苦労が癒されました。



閉会時に、視察に見えていた高齢者福祉課職員の石井様より「手洗をしたうえで良く拭き取り、その上でアルコール消毒するように、それ以外は特に指摘は無く、良く準備されている。暫くは対策の維持に努めてほしい。また、体操時の掛け声は1人がずつと行うのではなく、負担を分け合うようにすると良い」とのお言葉を頂きました。特に印象的だったのは、役員の1人から「解散って言わないとみんな席を立たないよ」と言われたことだった。それほど参加者・役員とも暫く余韻を味わっているような状況でした。参加者から役員へ拍手の感謝が伝えられ、次回も健康で元気に再会することを約束し解散となりました。反省会では役員からホッとした感想や今後の憂いが漏れ出た。再開の準備はワクワク感もあり、一気に動けた感がある。冷静に考えれば、今後も感染防止対策に準じた会場設営を行うことはけっこう大きな負担となる。とは言え対策を疎かにすることはできない。いかに負担を軽減できるか、新たな課題が見えた。考える事もまた脳トレになるだろうと前向きに考え、「体操会のひと時、楽しく交歓することに勝る免疫力強化策はなし」と信じ役員一同 心一つにして継続を誓うのであった。(はらトピア体操会)

■ クロスワード

①→⑥の順に並べて読むとある言葉になります。さあ、皆で考えよう！ヒントだモン。各項目は「千葉県内の市町村」の名称だよ。

	①	が	ち	よ	う	お
	も	ら	ぼ	つ		お
な		や	ま			や
⑥	わ	な	た			
		あ	こ	ど		③
の	き	ら	④	そ	う	ら
	②	ひ	お	ん		さ
む	つ	わ	い	ち	⑤	ら

■ はら雀塾 (健康麻雀) 再開

健康麻雀「はら雀塾」は包括支援センターより紹介を受け、伊藤弘夫さん、鈴木稔さん、中山垂茂さんが中心となり、一昨年4月に発足しました。当初は有志の方から譲り受けた卓やハイを用いて運用のルール作りから始まりました。回を重ねる毎に参加者が増え、卓も増えていく状況で、すっかりこの町に定着した感じになっていました。今年の3月、ちょうど2年を迎えようかという頃、新型コロナウイルスの感染が広がり、止む無く休会となりました。1ヶ月位で再開できるのではと希望を抱いていましたが、実に4ヶ月と長期に及んでしまいました。休会中、参加頂いていた方からは「またやりたいですね」とか「いつ再開できるのかね」と再開を期待する声を沢山頂いていました。



緊急事態宣言が解除され、再開への機運は一気に高まりましたが、一方で新型コロナウイルスの感染リスクが無くなった訳では無く、「新しい生活様式」という言葉が示す通り、感染防止を踏まえた日常生活を行う事が求められ、集会や行事を行う際には、厳しいガイドラインに準拠する必要があり、即座に再開という訳にはいきませんでした。6月になり、各団体の再開への動きに歩調を合わせ、再開準備を進めました。麻雀には「卓を囲んで対面で行う」という特有の課題があります。役員の方はこの点にとっても悩み、多くの時間を費やしていました。①卓数を制限(4卓→3卓)、②マスク又はフェイスガード着用、③アルコール消毒(手用、掃除用、卓やハイなど)、④換気、⑤参加者の体調確認、⑥お茶や茶菓子の提供を取り止め、⑦会話の自粛、など考えられる対策は全て対応するように準備を整え、6月24日(水)、4ヶ月ぶりに再開することができました。



取材で訪問したのは再開から1ヶ月が経過した7月25日(土)。参加者はちょうど3卓分の12名、内6名が女性でした。皆さん真剣な面持ちでどこか勝負師と見間違えそうな雰囲気でした。

言い換えれば少し空気が重い感じでしたので、空気をほぐすような云い方で「皆さん、真剣ですね」と声を掛けたところ、「しゃべっちゃダメなんだよ」と応答があり、ようやく気付きました。そう言えば去年取材に向った時は、皆さん談笑しながら楽しく卓を囲んでいました。こういう形で影響が出ているとは思っていませんでした。自粛要請の段階的な緩和に沿って、徐々に以前のような賑わいを取り戻して行きたいところです。(はら雀塾)

■ 「コロナ禍」って何?

「コロナ禍」を初めて目にした時はどう読んで良いのかわかりませんでした。テレビで「コロナか」と云っていたので読み方はわかりましたが、「禍」ってなんだ? 私は、コロナウイルスが世界中に蔓延する「禍」だとイメージして「うず」だと思っていました。ほかには「ナベ」と思っていた方も多かったようです。さすがに「ナベ」は無いただろうと思いましたが、「うず」も大して変わらないと子供に云われてしまいました。読み方は判りましたが意味がわからないので調べました。「禍」は「わざわい」と読むようで、一発で納得しました。

この「禍」、新聞業界では「病名+禍」として以前から使われていたようです。「MARS 禍」、古くは1959年に西日本新聞で「水俣病禍」が用いられています。「コロナ禍」は2月にスポーツ新聞で多く使われ、一般紙に波及したようです。スポーツ紙では「リング禍」(格闘技選手がリング内で事故にあふ事)という言葉が良く使われていて、「コロナ禍」の引用は至って普通のことだったようです。個人的には聞き慣れない言葉なので未だにじっくりきていないです。しっかりしないまま終わって欲しいです。(広報)

■ 子供会からのお願い

廃品回収(資源ゴミ回収)の収益は、子供会の活動資金となります。実施日:毎月第3日曜日(雨天決行です)  
・紙類、ダンボール、牛乳パック、布類は通常のゴミ置き場に  
・アルミ缶は9時に「はらトピア」まで  
佐倉市が行う回収も資源回収ですが、子供会の資金とはなりません。是非とも子供会へのご協力をお願い致します。6月の収益は17,530円でした。ご協力ありがとうございました!!

■ 編集後記

今号では行事再開の記事を掲載することが出来ました。少しずつですが皆さんの笑顔が戻る様子をお伝えすることができ嬉しいです。東京都の様子を見る限り、まだまだ感染のリスクは高く気の緩まぬ日々が続くと思われます。新しい生活様式を楽しむ反面、感染防止は怠らぬようお願い致します。(広報)

